

平成24年度 第1回がまごおり協働まちづくり会議 要旨

日 時 平成24年 4月16日 (月)
10時00分～12時00分
場 所 蒲郡市役所 新館5階 庁議室

出席者：和泉会長、金子副会長、尾崎委員、竹内委員、小林浩子委員、西川委員、山本智史（水野委員代理）、小林康一委員
（事務局）吉見、酒井、小林正、石川、山崎

欠席者：小田委員、山本久代委員、石渡委員、
第1回会議決定事項

議題

(1) 平成24年度協働関連施策について

- ・ほとぼしる情熱支援部門、250万円、はじめの一步部門、100万円、協働のモデル事業、100万円、合計450万円が予算に計上。
- ・がまごおり協働のまちづくり基金積立金として450万円計上。
- ・今年度末での基金残高は約920万円の予定。
- ・東三河で行う広域の協働の協議会でどすごいネットを含めた活動を行う予定。

(2) 企画公募事業助成金審査結果について（はじめの一步部門）

- ・5事業に助成決定。
- ・残金が62万円あるので追加募集を行う。進め方は事務局に任せる
- ・返金があった場合の対応は宿題。

(3) 平成24年度協働モデル事業について

- ・3案（高校生、緑のネットワーク、花苗）をたたき台として提出
- ・高校生と花苗について可能性を事務局で探る。また行政内でも探る
- ・次回会議で詰めて行く

1 開会

2 議題

(1) 平成24年度協働関連施策について

平成24年度協働関連施策について事務局より説明。

(2) 企画公募事業助成金審査結果について（はじめの一步部門）

はじめの一步審査結果について事務局より説明。

申請5事業、助成決定5事業で総額38万円。予算残額62万円

残額62万円について再募集をするか、基金に積み立てるかを各委員議論。
各委員の意見は下記のとおり。

- 後期日程で実施可能かどうか。
- 民間団体では6月事業実施が多い。
- 追加で募集した方がよい。チャンスは多い方がよい。

- 新年度で人の入れ替わりがあった時に応募できると良い。

結論：一番早く広報に載せられるタイミングで告知をスタートし、追加募集を実施する。

(3) 平成 24 年度協働モデル事業について

事務局案として以下 3 事業を提示

- 1 市内の高校と連携する事業
- 2 市民企画公募助成事業実施団体のうち環境系団体のネットワーク構築事業
- 3 修景緑化事業の育苗事業

各委員の意見は下記のとおり

- 1 市内の高校と連携する事業について
 - 高校との連携事業は総合学科のある学校だと思うが、最近協働とかスポンサーを教育現場に導入することが可能となっており、そういった特徴を持った所との連携はこれから重要である。中学と高校を繋げば独自のプログラムになる。
 - 授業の一環として計画的に実施できるのではないか。
 - 学校については一つの可能性がある。
 - 学校での活動はモデル事業にする前の段階と思う。
- 2 市民企画公募助成事業実施団体のうち環境系団体のネットワーク構築事業について
 - 市が中心となってやったら面白いのではないか。市が資材を買っておいてボランティアをする時に貸し出す。必要な時に市から借りられるというのは非常によい。
 - 自分としては 3 つの中ではこの事業が良いと思う。
 - 活動のネットワークができるとお互い刺激し合えるので良い。
 - ネットワーク事業はモデル事業ではなく市民センターの役割ではないか。
- 3 修景緑化事業の育苗事業について
 - 育苗事業は活用できれば大きく資金をつぎ込んでも良いのではないか。
 - モデル事業として良い。
 - この話には高校生が連携することも考えられる。
 - 現在担当課では本格的に苗が作れていない状況。市民の力でできれば、時代にマッチしている。

その他

- 市の担当課を核として市民団体へ募集をかけて展開する行政から始まる事例があっても良い。
- 3 事業は案なのでその他の事業でも良い。

結論：今回の 3 案以外にも可能性のある事業を模索し、もう少し詳細な議論を次回会議で行う。